

- 開院30周年を迎えて
- 滋賀医科大学医学部附属病院
30年のあゆみ
- がん診療について
- 院外処方せんへのご協力をお願い
- 料金改正のお知らせ



開院30周年を迎えて



病院長 柏木 厚典

附属病院開院30周年にあたり、本院にあたたかいご支援とご協力を賜っています地域の皆さま方に厚く御礼申し上げます。また、病院の発展にご尽力いただきました関係各位、病院機能の充実を目指して日夜、真摯に医療に取り組んでこられた諸先輩、多くの病院スタッフに心より感謝申し上げます。

昨今では、医師不足、都市への研修医の集中など、医療にかかわる多くの問題が噴出し、医療崩壊が指摘されています。

このような医療情勢の中、本院は昭和53年10月の開院以来、順調に発展してまいりました。特に“地域に支えられ世界に羽ばたく”附属病院を目指して、医療安全を重視し、救急医療、小児科、産科医療、難治性循環器疾患治療などで地域医療へ貢献し、さらに先進医療の推進、コメディカルスタッフの専門認定資格取得者の増加、患者サービスの向上、クリニカルパスやIT化による医療の効率化を進めてまいりました。

また、平成16年度より「①機能集約型」、「②地域密着型」、「③医療安全推進」のコンセプトのもと、病院再開発計画をスタートさせました。平成19年10月には新D病棟が稼動、平成20年6月にはC棟の改修工事が終了しました。今後は、新手術棟増設、外来棟や玄関ホールなどの改修が行われます。最終の工事終了は平成23年度末の予定となっています。

このほか、平成18年4月には念願であった病院玄関前バス乗り入れが開始され、平成19年10月には「7：1看護体制」を導入することができました。

今後さらに、手術部運営の改善、患者支援センター機能、集学的がん治療、治験センター機能の充実を目指してまいります。これら目標を着実に実践することにより、今後も本院が“地域の皆さまにさらに支援され、世界に羽ばたく”高度医療を推進する専門病院として発展するため職員一丸となり努力いたします。一層のご支援、ご協力を何卒よろしくお願いいたします。



開院30周年記念事業（記念式典・記念講演・祝賀会）の様子

滋賀医科大学医学部附属病院30年のあゆみ

昭和53年 附属病院の開院

この10年の出来事

- 医学部附属病院 開院
開院時は320床でした
- 2年後には現在とほぼ同じ計600床に増床しました



昭和53年 開院式テープカット



昭和52年 建築工事中

平成2年 開院10周年

この10年の出来事

- 下記の診療科・組織等を新設しました
 - ・救急部
 - ・集中治療部
 - ・輸血部
 - ・総合診療部
 - ・無菌治療部
- エイズ拠点病院、特定機能病院、臓器提供協力施設として承認されました
- 小児科病棟に院内学級（瀬田東小学校）を開設しました
- 外来ボランティアさんの活動がスタート



昭和54年 完成4ヶ月後の玄関

平成10年 開院20周年

この10年の出来事

- 下記の診療科・組織等を新設・改編しました
 - ・継続看護室
 - ・光学医療診療部
 - ・地域医療連携室
 - ・医療研修部
 - ・化学療法部
 - ・腫瘍センター
 - ・感染制御部
 - ・治療管理センター
 - ・医療安全管理部
 - ・リハビリテーション部
 - ・救急・集中治療部
 - ・栄養治療部
 - ・ペインクリニック科
 - ・患者支援センター
 - ・医療情報部
 - ・卒後臨床研修センター
 - ・病理部
 - ・臨床工学部
 - ・母子診療科、女性診療科
 - ・リハビリテーション科
- I V M R 棟を竣工
- 日本医療機能評価機構実施の病院機能評価認定取得
- 新(D)病棟竣工／病棟移転を実施
- C病棟改修工事完了／病棟移転を実施



平成12年 I V M R 装置



平成16年 病院機能
評価認定取得

平成20年 開院30周年

- 開院30周年記念式典を挙げる
- 滋賀県がん診療高度中核拠点病院に指定



平成19年 D病棟竣工



平成19年 病棟移転

がん診療について

腫瘍センター長 目片 英治



もし自分自身が“がん”と診断されたらどの病院にかかればよいか……さまざまな雑誌に載っている病院ランキングを読み、遠くの病院に行かれる方もいるかもしれませんが、本院にも他府県から多くの患者さんが来られています。

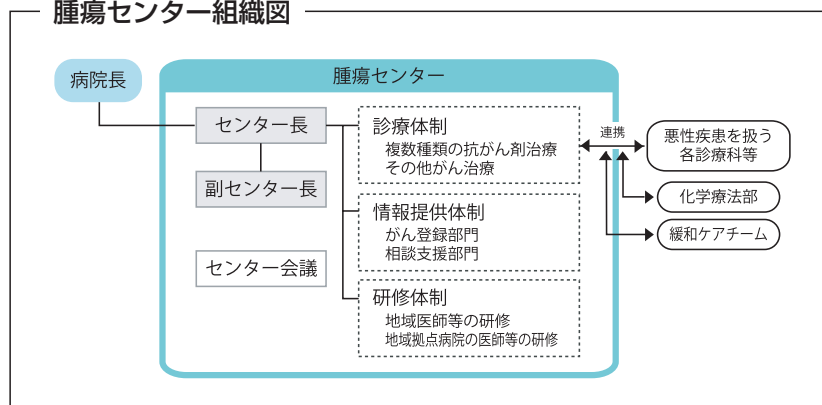
国は基本方針に、がん医療の均てん化を挙げ、都道府県別に「がんの拠点病院」の整備を進めています。治療から緩和にいたるまでのがん医療を患者さんが安心して受けられる体制づくりを目標としたものです。

滋賀県は本院を“県がん診療高度中核拠点病院”とし、県民の求めるより高度な医療を提供できる病院と位置づけました。

本院では、腫瘍センターを中心に、最新の技術を使った手術、化学療法、放射線治療、ワクチン治療を行っております(詳しい治療内容等は本院のホームページをご覧ください)。また、がんの専門医を多数有しており、信頼を得られる体制がすでに構築できていると考えています。

例えば治療方針の決定は一人の医師の判断ではなく、疾患ごとのグループミーティングを行い、最善の治療を選択しています。また治療困難症例、複数の診療科が関わるような症例は、各領域の専門医が集合し、カンサーボードミーティングを実施し、治療方針を決めています。

腫瘍センター組織図



しかし、がんの治療は日進月歩であることは間違いなく、私たちはこれからも新しい医療技術の開発、先進医療の導入を精力的に行っていくと考えています。

院外処方せんへのご協力をお願い

本院では国の施策である医薬分業推進のため、院外処方せんを発行しています。

医薬分業の目的は、医師と薬剤師がそれぞれ専門家の立場から処方せんをチェックすることにより、薬をより安全に使用してもらうことです。街の薬局では十分な薬の説明や服薬指導が受けられ、薬歴管理による重複投与や相互作用のチェックも受けられます。また調剤の待ち時間の短縮も可能となります。

なお、ご要望があれば、薬の値段(薬価)の安い後発医薬品(ジェネリック医薬品)を院外処方せんにおいて選択できますので、主治医にご相談ください。

院外処方せん推進へのご理解とご協力をお願いいたします。



料金改正のお知らせ

本院では、平成21年1月1日から、下記のとおり料金の改正を行います。何卒、ご理解とご協力をお願い申し上げます

1. 選定療養費

	現 行	改正後
紹介状なしの初診時負担額	2,625円 (税込み)	5,250円 (税込み)

2. 交通事故時等の診療報酬金額

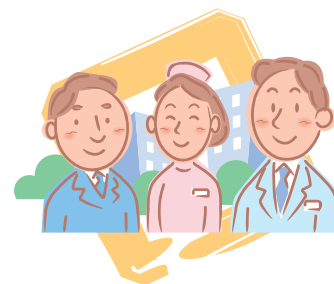
	現 行	改正後
1点につき	15円	20円

3. 分娩料等

		現 行	改正後
1回につき	時間内	130,000円	160,000円
	時間外	140,000円	170,000円
	深 夜	150,000円	180,000円
	休 日	160,000円	190,000円
1児を超えるとき 1児を増す毎に	時間内	100,000円	130,000円
	時間外	120,000円	150,000円
	深 夜	140,000円	170,000円
	休 日	120,000円	150,000円
避妊リング挿入料		26,250円 (税込み)	31,500円 (税込み)
避妊リング抜去料		10,500円 (税込み)	15,750円 (税込み)
妊婦検診料		4,000円	5,000円

4. 新規料金設定

	料 金
乳房マッサージ (1回につき)	3,000円
助産師保健指導 (30分)	1,000円
ノンストレステスト	2,000円



滋賀医科大学医学部附属病院 理 念

「信頼と満足を追求する全人的医療」

滋賀医大病院ニュース第21号

編集・発行：滋賀医科大学広報委員会

〒520-2192 大津市瀬田月輪町

TEL: 077(548)2012 (企画調整室)

過去の滋賀医大病院ニュース (PDF版) はホームページでご覧いただけます。

●理念を実現するための 基本方針

- 患者さん本位の医療を実践します
- 信頼・安心・満足を与える病院を目指します
- あたたかい心で最先端の医療を提供します
- 地域に密着した大学病院を目指します
- 世界に通用する医療人を育成します
- 健全な病院経営を目指します